

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 休 日 の 妄 想

松 山 三 男

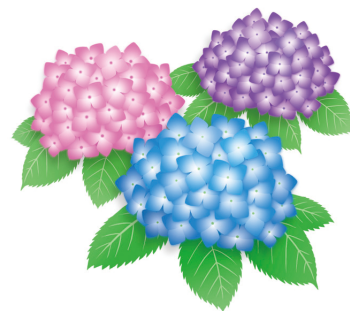
(浪速生野病院 副院長)

先日の休日に近鉄天理駅から近鉄桜井駅まで、日本最古の道と言われる山辺の道を歩いてきました。途中箸墓古墳に立ち寄りまして、なぜかしばらくの間考え込んでしまいました。以下はその時の心中の眩きですがあくまで妄想ですので、もし不適切な表現がありましたらご容赦を。

『これが箸墓古墳か…。卑弥呼の墓ではないかと言われているらしいがホンマかいな～。以前は卑弥呼の時代は2世紀後半から3世紀前半、箸墓古墳築造は3世紀末から4世紀前半と言われ50～100年ズレがあったのが、平成7年、8年の年輪年代法で近畿の弥生時代の遺跡での木片やら建造物跡の柱根を検証したところ、考古学的に考えられていた年代より近畿の弥生時代は約100年程遡るとか。従って箸墓古墳築造も100年程早まり、卑弥呼の時代と一致するという事らしい。纏向遺跡はこれまでの全国で発掘された遺跡の中では最大級だそう。箸墓古墳はこの遺跡の南端に位置しており、纏向古墳が邪馬台国の候補地ということか？

しかし年輪年代法は科学的に信頼できるとしてもあくまでも木材の伐採時期を特定するもので、建造物の築造時期は分からないよな

～。何だか邪馬台国畿内説一派のゴリ押しのような…と言っては失礼か。邪馬台国畿内説は文献学上より専ら考古学的見地から唱えられているように思える。邪馬台国は魏志倭人伝での記述からその存在が知れたのだから、その所在地については魏志倭人伝の内容から推測すべきではないのか～。しかしどうひっくり返して倭人伝を読んでも、邪馬台国が畿内にあるとは思えないけどな～。やはり九州だろう。倭人伝では邪馬台国に至るまでに対馬国、一支国、末慮国、伊都国、奴国、不彌国、投馬国を紹介しているが、現在では各々対馬、壱岐、松浦、糸島、博多、福岡、宇佐・中津に相当すると言われており、畿内説派もその点に異論はないだろう。その投馬国より南へ水行10日、陸行1ヶ月で邪馬台国に至るとある。宇佐・中津より南の方角なのだ。近畿地方は東だよな。また倭人伝には女王の国(邪馬台国)の東に海があり、海を渡り7～80キロにまた国があり皆倭種(日本人)が住んでいるというような内容の記述が確かあったよな。海を渡り7～80キロは四国あたりかな？何れにせよ邪馬台国が奈良県桜井市にあったとは到底思えない。やはり西都原古墳



群を始め圧倒的な古墳数の多さから言って宮崎県西都市が邪馬台国の有力候補だろう。宇佐・中津の南の方角にあるし東側は日南海岸があり海に面しているよな～。また卑弥呼の生きた時代の2世紀後半から3世紀前半の箸墓古墳のある三輪山周辺は素佐之男尊の三男とされている饌速日尊(別名大物主尊、大歳尊、布留御魂)やその長男である宇摩志麻治尊(物部氏の祖)が統治した云わば出雲族の国であり、真の意味での最初の大和朝廷といってもいいだろう。畿内説派は邪馬台国と出雲との関係をどのように説明するのだろうか…。卑弥呼は出雲の女王か…???そんなアホな!おっとっと、もう4時か。早く大神神社を参拝して帰ろっと。』



## 理事会報告



◎平成24年度 5月第1回定例理事会

日 時 平成24年5月18日(金)

午後8時～8時50分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 西成区の「生活保護受給者の登録医制」の説明会開催(6月28日(木))について

＜佐久間会長＞

標記説明会を開催したい。

西成区役所 保健福祉課 中島氏により説明いただく予定。

時間は午後2時、場所は本会会議室。

協議の結果、了承。

2. ブルーカードアプリのバージョンアップについて

＜久保田理事＞

iPadがOS 5.1へバージョンアップしたことに伴い、アプリの修正が必要となった。修正費の内訳は、調査費、修正作業費、テスト作業費である。

事業経費として了承したい。

協議の結果、レイクリエーションとの契約内容を確認し、修正費の内訳を精査することとなった。

3. 社会福祉法人スワンなにわからの産業医の推薦方依頼について

＜金田理事＞

標記事業所より産業医の推薦依頼があった。

詳細は次のとおり。

社 名 社会福祉法人スワンなにわ

所在地 浪速東1丁目11-8

社員数 108名

職 種 社会福祉事業

協議の結果、入野宏昭医師を推薦することに決定。

4. その他  
なし。

報告事項

1. 日本医師会新役員披露パーティについて  
(5月15日〈火〉) <佐久間会長>  
帝国ホテル東京にて開催された。  
各界から大勢の出席者があり、盛会であった。  
伯井会長が日医の理事として出席、大阪府医師会からは松原副会長、茂松副会長、植松顧問が出席されていた。

2. 浪速区地域支援調整チーム実務者会議について(5月17日〈木〉) <橋村理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 自己紹介  
▷ 各専門部会の報告  
▷ 情報交換(共有)など  
(詳細 略)

3. 学術講演会について(4月28日〈土〉)  
<富永理事>  
講演内容は次のとおり。  
演題 「腎生理を考慮したCardiorenal Protection」  
講師 近畿大学医学部 腎臓内科  
主任教授 有馬秀二先生  
出席者数 18名  
共催 塩野義製薬㈱  
情報提供 イベルタンについて  
(詳細 略)

4. 病診連携委員会について(4月23日〈月〉)  
<金田理事>  
次第は次のとおり。  
▷ 第30回病診連携委員会報告について  
▷ ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について(四天王寺病院)  
▷ 病診連携委員会のアンケート結果につ

いて

- ▷ 脳卒中地域連携パスについて(富永病院)
- ▷ あじさいネットワーク等の紹介について
- ▷ その他

(詳細 略)

5. その他  
なし。

次回会議 平成24年6月8日〈金〉午後2時～



## 5月度 学術講演会報告 学術担当理事 富永 良子

日 時 5月19日(土) 午後2時  
演 題 「運動負荷心電図の読み方  
ーST-T部分の変化の臨床的意義ー」  
講 師 国立循環器病研究センター  
循環動態制御部 室長 高木 洋 先生  
出席者数 23名  
共 催 ノバルティスファーマ株式会社  
情報提供 エクア錠のご紹介について  
担 当 富永良子

はじめに

運動負荷心電図検査には1、マスター 2段階負荷 2、トレッドミル 3、心肺運動負荷試験がある。

マスター 2段階検査は3分間の踏み台昇降で負荷をかける。本法は簡便、安全、安価であり、スクリーニングとして広く用いられている。トレッドミルは胸痛や胸部不快感のある患者、複数の冠動脈危険因子をもつ患者に対し行う。国立循環器病研究センターでは年間2000件行っている。心肺運動負荷試験はトレッドミルにくらべ、呼気ガス指標の分析により心不全の重症度、予後の評価が可能。心移植の適応判断や最大酸素摂取量を測定して運動耐容能評価を行う。心臓リハビリの一環でもある。マスクを装着して施行するので症状の聴取が難しい。年間900件行っている。検査による死亡例は0であった。

その他、虚血性心疾患を調べるには、負荷シンチ、負荷心エコー、冠動脈CTがある。冠動脈CTでは石灰化を判断しにくく、本当に虚血があるのか分かりにくい。

運動負荷心電図検査における心筋虚血の指標

ECG変化：ST低下、または上昇。不整脈。  
その他(T波逆転などのT波のみの変化)。

ECG変化以外：狭心痛。血圧反応低下に

よる低血圧。

安定狭心症の患者の半数以上で安静時ECGは正常である。冠動脈に有意狭窄があっても異常ECG変化は出現しない。運動負荷による精度は診断感度約70%(冠動脈疾患患者の30%は偽陰性)。特異性は約90%(健常者の約10%が偽陽性)である。

冠動脈疾患を示唆する所見は、ほとんどがST低下である。ST低下が著しいほど、冠動脈疾患の可能性は高い。しかし運動中にJ点(S波とST部分の境界点)が低下するのは生理的で正常な現象なので、ST低下を評価する際は十分注意する。STはJ点以降に急速な上昇を示し、60ミリ秒以内に基線に戻る。したがって、ST低下はJ点より80ミリ秒(小さな四角2個)T波よりで測定する。ST低下基準には、1、J 60またはJ 80で1 mm以上のST低下 2、上行型ではJ 80で1.5 mm以上のST低下がある。運動による生理的なST変化(ほとんどが低下)もあるので注意が必要である。

診断精度を上げるには、偽陽性・偽陰性の病態、状態を理解することが必要である。

偽陽性とは運動負荷時にST低下があっても、有意な冠動脈狭窄が無いこと。

対象特性はジギタリスの内服、中年女性、心室内伝導障害(左脚ブロック、WPW症候群)、技術的要因は下壁誘導などがある。偽陰性とは有意な冠動脈狭窄があるのに運動負荷試験が陰性であること。

対象特性は、良好な側副血行路を有す1枝病変、 $\beta$ ブロッカーの内服、陳旧性心筋梗塞(特に前壁梗塞)がある。

実際のST変化を供覧しつつ、講演された。

文責 富永良子



## 7月度学術講演会のお知らせ

7月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。  
多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：7月21日〈土〉午後2時～  
場所：浪速区医師会 会議室  
演題：「運動負荷心電図の読み方  
— ST-T部分とU波の変化の  
臨床的意義—」  
講師：国立循環器病研究センター  
循環動態制御部  
室長 高木 洋 先生

## 急病診療所出務

- 中央急病診療所  
7月28日〈土〉深夜22：00～30：00  
城村 尚登
- 今里休日急病診療所  
7月29日〈日〉10：00～17：00  
木 田 徹・川田 信哉

## 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。  
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。  
(ときに時間変更される場合もありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第1・3・5(土)  
(川田信) pm 5：00～

## 浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年7月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

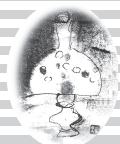
## 三 歳 児 健 診

- 保健福祉センター  
7月26日〈木〉午後1時40分～3時30分  
眼 科 吉野 成泰  
耳鼻科 川田喜代子

## B C G 接 種

- 保健福祉センター  
7月19日〈木〉 午後2時～3時30分  
工藤俊次郎・本田 秀明





## あとがき

Y.M

今月号の巻頭言士は「山辺の道」を歩きながら、はるか古代に思いを馳せておられる。箸墓古墳や纏向遺跡の存在、その辺りから三角縁神獣鏡が多数出土したことや大規模な建物跡が発掘されたことなどから、最近では邪馬台国がこの付近に存在したのではないかと、いわゆる畿内説がにわかに有力になった。しかし巻頭言士は冷静に考察された上で、やはり九州説を支持しておられるようだ。

私も関西人は、何となく国の発祥は大和を中心とした近畿地方であってほしいと思っている人が多いような気がする。とくに私のように中学校までは奈良で過ごし、小さい頃から古墳だらけの中で育った者にとって、やはり邪馬台国とはやまと(大和)国のことを指しているのではないかと思いたい。

古事記や日本書紀に記された古代の記録は半分以上が神話の世界であって、科学的根拠には乏しいのだが、以前天照大御神とは卑弥呼のことを指しているのではないかと、少々荒唐無稽な書物を読んだこともある。

いずれにしても古代に夢を馳せるのは楽しいことだし、嫌なことの多い現実から逃避することもできる。それに容易に決着がつきそうもない邪馬台国九州説と畿内説を、それぞれの立場に立って論争を繰り返しているのを傍目に見ているだけでも興味をそそられる。

こんなことを言えば、昔なら不敬罪に問われたかも知れないが、古代の天皇陵と言われて、宮内庁が厳重に管理している墳墓(実際には伝承や推測が多い)の少なくとも一部の発掘は当然許可されるべきだと思っている。実際エジプトでは王家の谷やピラミッドが丹念に発掘され、ツタンカーメン王のミイラなど貴重な宝物が無数に発見されている。日本でもそれぞれ古代史を大きく書き替えるような大発見があるかも知れないのに、残念でな

らない。古代史や考古学に興味のあるあとがき子もせめて巻頭言士に習って、大和や九州の史跡をいつか巡ってみたいと思っている。



目次	ページ
巻頭言	
休日の妄想	松山 三男 1
理事会報告(5月開催)	2
5月学術講演会報告	富永 良子 4
7月学術講演会のお知らせ	5
浪速区医師会活動の伝言板	5
あとがき	6

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博  
編集者 中村泰久 橋村直隆  
印刷所 株式会社 サビ